

# 巻 頭 言

## 紀要発行にあたって

仙台青葉学院短期大学学長  
鈴木 一 樹

このたび本学研究紀要第9巻第1号を発行いたしましたので、皆様方のご高覧に処する次第です。

さて、このところ大学の存在意義が改めて問われるようになりました。大学は本来的には教養教育、専門教育を行う機関であると同時に研究活動によって真理を探究する機関であります。ところが最近はこれらに加え職業教育、対人教育という役割も求められるようになってきているのは周知のとおりです。

これまでこうした教育は学生を受け入れる企業等が行うものであったわけですが、それを大学の段階から行うことが求められているわけです。

こうした社会の要請に応えるべく本学においても「実学教育」「対人教育」「教養教育」という3つの柱から成る建学の精神を掲げております。

しかし、真理の探究を目指して研究活動を行うという大学の本来的な役割を忘れてはなりません。研究実績は大学の貴重な知的財産であり、また大学の教育の質をさらに高めるために不可欠なものであるからです。

本紀要では、看護学科、リハビリテーション学科、こども学科、栄養学科、観光ビジネス学科の9名の教員による計10編の論文を掲載しております。多忙な教育活動の傍らこのように多数の論文が投稿されましたことは、非常に喜ばしいことでもあります。また、幅広い分野でこうした研究実績が蓄積されていくことが本学の発展に大きく寄与することは疑いの余地がありません。

今後、本学紀要が学術誌としてさらに充実したものとなることを期待し、私からのご挨拶とさせていただきます。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。